

2015年9月19日 第109号

憲法共同センターNEWS

戦争する国づくりストップ！憲法を守り・いかず共同センター

文京区湯島 2-4-4 全労連会館 03-5842-5611 (FAX 5842-5620)

http://www.kvodo-center.jp mail: move@zenroren.gr.jp

「戦争法案」強行採決！ 連休中も怒りの声をあげましょう！

国会正門前を4万人以上が埋め尽くしコールをあげるなか、参議院本会議で採決が行われ、自民党、公明党、日本を元気にする会、次世代、新党改革の5党などの賛成多数で「戦争法案」が強行採決されました。国民無視、国会軽視の暴挙であり到底認めることはできません。

「強行採決に抗議する緊急国会前集会」に300人

19日(土)9時から、総がかり行動実行委員会は、国会正門前で、「強行採決に抗議する緊急国会前集会」を開きました。緊急の呼びかけにもかかわらず、300人が参加しました。日本共産党の畑野君枝議員が国会報告。「ママの会」の女性は、悔し涙があふれて言葉につまるなかで、「この法律は廃止しなければ」と決意を語りました。

憲法共同センターの長尾ゆりさんは、「私たちはあきらめない。なぜなら私たちに道理と正義がある。憲法違反であることがはっきりした戦争法は無効だ。そして、私たちの運動の発展はもう止められない。9条まもれの声は、高まり続ける。たたかいはこれからだ。」と訴えました。参加者は、何度も国会に対して、「強行採決無効！」「戦争法は廃止！」「安倍政権は退陣！」とコールを上げました。

国会前集会が終わった後も、市民の皆さんは続々と国会前に詰めかけています。「黙ってられない」「安倍はひどすぎる」と話していました。

「強行採決に抗議する宣伝行動」に高い関心

新宿駅前で、「9条守れ」のコール響く



19日(土)12時から、憲法共同センターは、東京・共同センターと共催で、新宿駅西口で「戦争法案強行採決に抗議する宣伝行動」を行いました。緊急の呼びかけにもかかわらず、78名が参加。憲法共同センターの「戦争法案『強行採決』は無効！ 国民は認めません」というチラシを1000枚配布しました。1時間の行動で、133筆の署名が寄せられ、安倍政権の暴走への怒りが示されました。ある女性は、「二十歳の息子がいて、本当に心配だ。安倍さんなんか、自分は戦争に行かないのに、勝手にこんなことを決めて、腹が立って仕方ない。こんな風に、宣伝してくれる人たちがいて、うれしい。頑張ってください。」と、話しました。

民医連の藤末会長をはじめ北海道と島根のお医者さん、全商連・勝部さん、民青・望月さん、生協労連・清岡さん、全労連・長尾さんが次々と、「民主主義破壊の『強行採決』で、憲法違反の『戦争法』を通そうとするなど、認められない。戦争法を実施させない、廃止を求める声をさっそく上げていこう」と訴えました。

参加者の女性たちからの発案で、最後は、宣伝カーに5人の女性が並び、コールを呼びかけました。元気なコールに、通行者も立ち止まって一緒にコール。「9条守れ」の声が新宿駅前に轟きました。

「強行採決」により、市民の怒りはさらに高まっています。「緊急の提起だったけれど、何かしないといけないと思ったから、参加した。」「今日宣伝してよかった。『やられてしまった』という人たちを励ます行動になった。」という感想が聞かれました。



戦争法案抗議声明、各団体次々発表

19日、戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会 は強行採決を受けて声明を発表。憲法共同センターの構成団体も次々に声明を発表しています。

自由法曹団は声明「戦争法制（安保法制）の強行採決に抗議し、違憲立法の速やかな廃止を求める」で、「自由法曹団と全国2100名余の団員弁護士は、政府・与党の暴挙に満腔の憤りをもって抗議する」「戦争法制は強行されたが、国民の力は政府与党を圧倒した。圧倒的な反対の声に逆らった強行は、平和主義・立憲主義を蹂躪するばかりか、国民主権と民主主義を踏みにじるものであり、違憲立法にはいかなる効力もない」とし明文改憲阻止と安倍政権退陣に向け全力で戦う決意を表明しています。

全国革新懇は声明「戦争法案の強行採決を糾弾する」を発表し、「戦争法案反対のたたかいは、世代や思想・信条の違いをこえた空前の国民運動をつくり、新しい政治につながる貴重な成果を残した。全国革新懇は、ここに確信を持ち、憲法違反の戦争法の廃止を要求し、この一点での国民的な共同のたたかい」をよびかけています。

日本年金者組合は声明「戦争法の採決強行に断固抗議する 憲法違反の戦争法は無効であり破棄せよ」を発表。「戦争する国づくりは、社会保障を切り捨て国民の暮らしを犠牲にすすめられることを歴史は教えている。私たちの年金削減違憲訴訟は、戦争する国づくりに、真正面から立ちふさがるたたかいになっている」「戦中・戦後の厳しい時代の中を生き抜き、現憲法の下、平和な日本を実現するために営々として働いてきた私たち高齢者は、次の世代がふたたび戦争への道を歩むようなことは断じて容認できない」とし全力でたたかう決意を表明しています。

全労連は談話「戦争法案の強行可決に満身の怒りを持って抗議する」を発表、「安倍政権が『何とかぎりぎり逃げ切った』と思っているのであれば、それは大間違いである。憲法に根ざして燎原の火のようにひろがった世論は、安倍政権への怒りでさらに燃え上がっている。このたたかいのなかで、これまで政治に無関心だった若者や女性、膨大な人々が声を上げ、自らの意思で行動に立ちあがった。全労連は、こうした広範な人々との共同をさらに前にすすめ、①戦争法の発動（戦争）と基地強化など戦争する体制づくりに断固反対し、②安倍政権を早期退陣に追いこみ、戦争法廃止へ、直ちに踏み出していく決意である」と表明しています。

また、戦争立法に反対する和歌山県共同闘争本部、山梨県労会議、出版労連、日本医労連など各団体が次々に抗議声明を発表しています。

連休明け！ 国会正門前大集会

とき : 9月24日(木) 18:30~

主催 : 戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会

場所 : 国会正門前 *憲法共同センターは南庭~財務省上に配置